



初期研修のあゆみ

救命救急科の1日

1

自己紹介



浜松医科大学出身 初期研修医1年 東 千夏(あずま ちか)です。
4月から6月は救急科、7月は呼吸器内科、8月は小児科、9月から
10月は消化器外科をローテーションする予定です。

2

7 : 00
出勤



この日は7 : 00過ぎに出勤しました。医局で着替えの後、8 : 00頃救急科へ向かいます。

3

8:15

朝の カンファレンス

救急科の1日は、全員でのカンファレンスから始まります。救急科医師による入院患者のプレゼンテーションを元にして、今後の治療方針をレントゲンや血液検査のデータを診ながら、話し合っています。もちろん、研修医にも意見を求められます。



4

9 : 00

カンファレンス後
～先輩・同期と～



毎月、5～6名の研修医が救急科をローテーションしています。
(左から西脇先生、浅野先生、富田先生、大石先生、河野先生、東先生、一瀬先生です)

5

10 : 00

救急患者対応①



救急車到着



患者様搬送の手伝い



救急隊から患者様の情報の収集



診察開始

救急車が到着し、患者対応をしています。救急隊員からの情報収集も大切な研修です。診療の準備も1ヶ月たった今は、慣れたものです。

6

12 : 00
昼食・休憩



救急科研修中の研修医が昼食をとる部屋です。この部屋で1.2年生でコミュニケーションをとっています。

7

13 : 00

救急患者対応②

当院では、初期研修医がFirst touchを行い、診察や治療方針を決め、指導医または上級医の先生に相談し、アドバイスやフィードバックが行われています。

どの研修医もはじめは戸惑うことばかりですが、数多くの症例をこなすことにより自信がつくようになっていきます。



CT・MR検査を行います



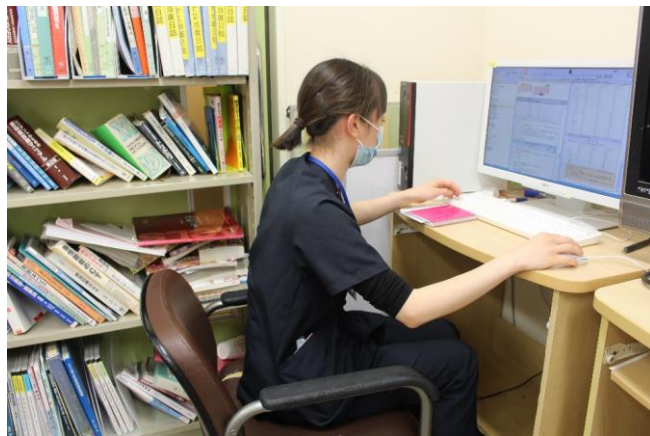
本日は吉田救急診療部長の指導を受けています

8

コンサル テーション

この日は、脳神経内科の勝山先生にコンサルテーションし、画像を診ながら症状の説明をして頂きました。

その後、検査結果などを電子カルテを入力します。



9

最後に

4・5月と研修
してみた



大学では経験の出来なかった熱傷やCPA、重症心不全など複数の症例を経験させてもらっています。

2年生の先輩はとても優しく細かいところまで丁寧に指導して下さいます。また、研修する環境が整っていて、勉強熱心な先輩が多いです。

(研修医1年 東先生、富田先生)



1年生には自分で考えてやるようにしてもらっています。処置をしながら教えたり、時には見守ったりしています。

4月当初はコンサルテーションの練習もしました。今では各診療科の先生にコンサルテーションが出来るようになりました。

(研修医2年 河野先生、浅野先生)